

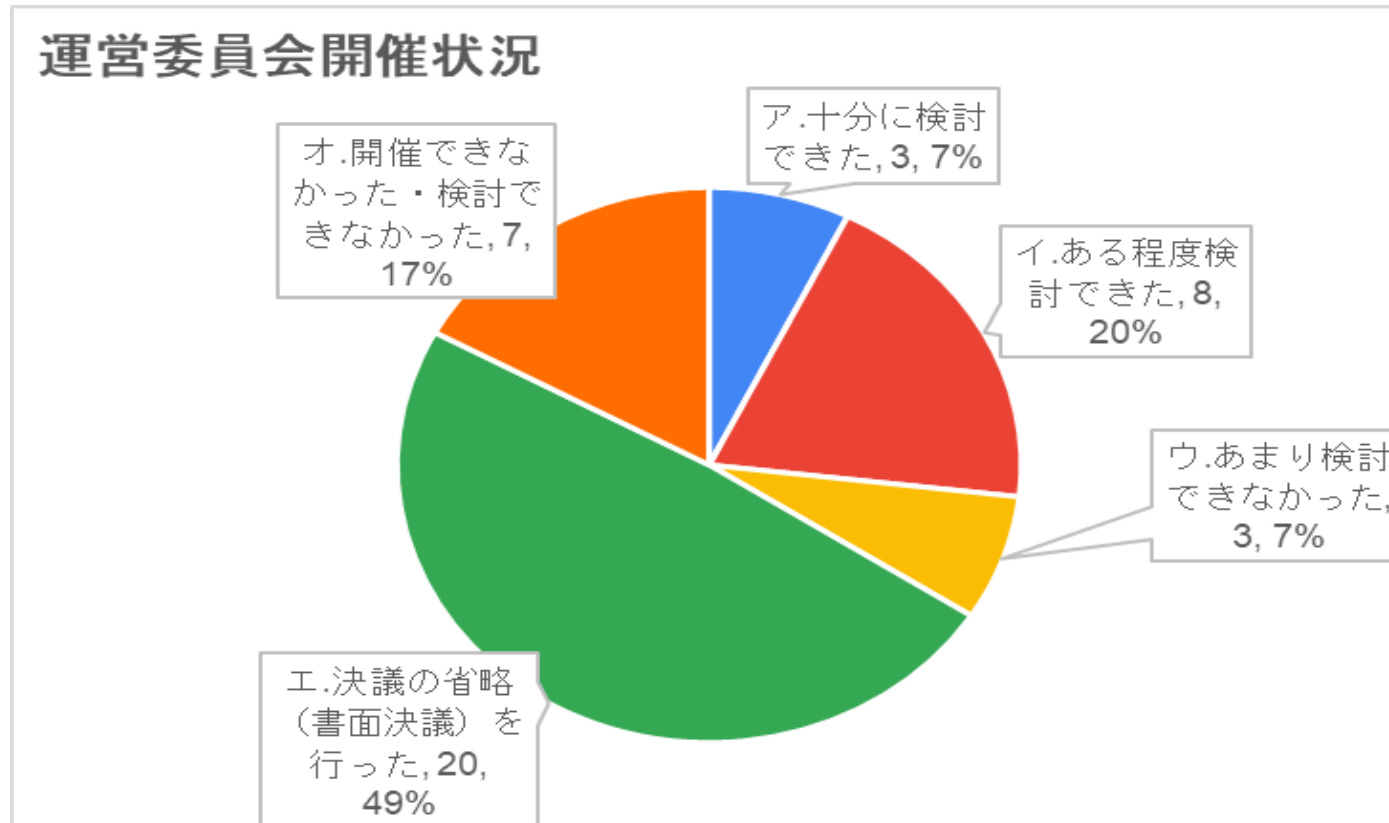


【事務局説明①】

令和3年度共同募金運動アンケート結果 (概要)と令和4年度の取り組みについて

1. 共同募金運営委員会の実施・運営

運動や助成など必要な事項について運営委員会で十分検討できましたか？



選択項目	市町村数	割合
ア.十分に検討できた	3	7%
イ.ある程度検討できた	8	20%
ウ.あまり検討できなかった	3	7%
エ.決議の省略(書面決議)を行った	20	49%
オ.開催できなかった・検討できなかった	7	17%

1. 共同募金運営委員会の実施・運営

工夫した点・良かった点・課題など

■工夫した点・良かった点

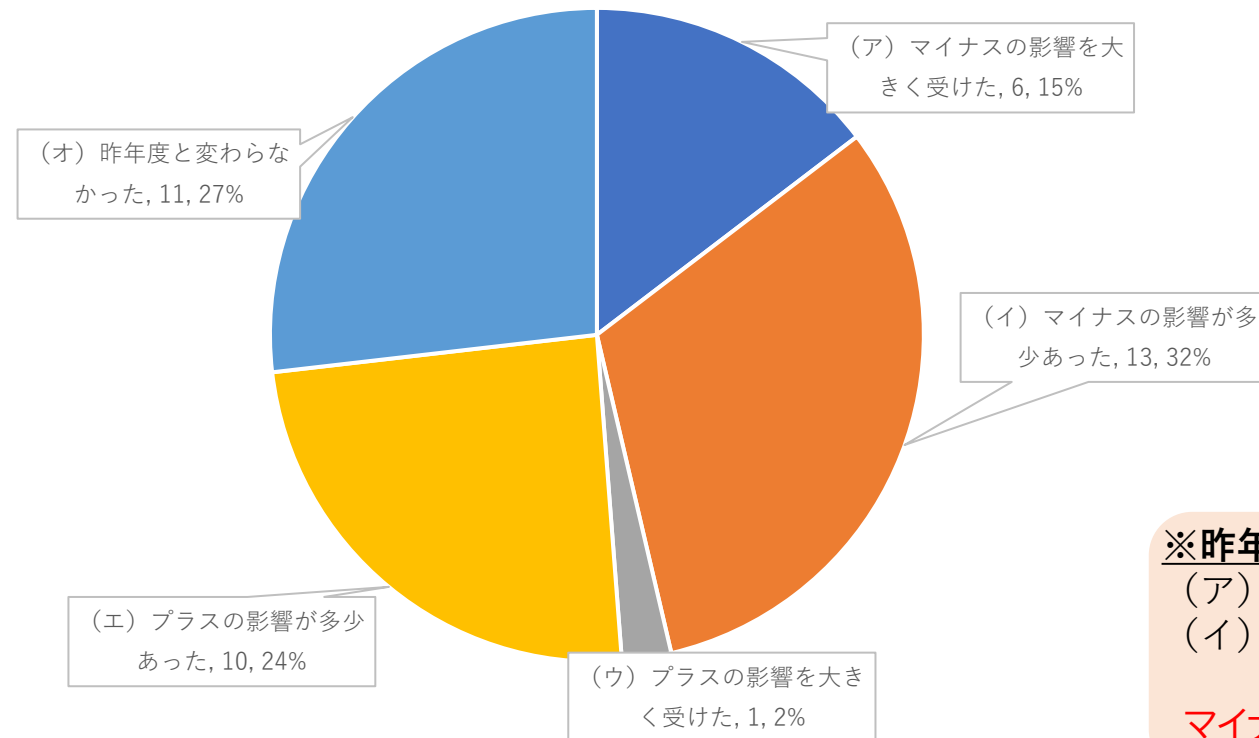
- ① 運営委員会年2回、審査委員会年2回開催
- ② 事業報告書に写真、参加者の声をのせるなど、事業計画等についても課題と評価部分も合わせて報告と相談を行い、事業計画、予算について一緒に検討することが出来た。
- ③ 報告書と提案等についての資料作りは見やすいように毎年試行錯誤しながら作成。
- ④ 会議は毎回、和やかな雰囲気意識した場を設けている。委員一人ひとりの動き（協力）についても感謝を伝えながら、他の委員へ報告。担当者として他の職員の取組姿勢についても報告することで、チームとして動けているように感じる

■課題

- ① 長引くコロナの影響により、十分に話し合う場が持てず書面決議となった。今後も同じような事が考えられるので、書面決議だけではなく、オンライン開催も出来るよう取り組むことが課題である。
- ② 対面での開催の実施が難しく書面決議になった際でも意見が記入しやすいよう様式等を工夫していきたい。

2. 令和3年度の募金実績について

令和3年度募金実績（一般募金総額）新型コロナウイルス感染症の影響をどの程度受けましたか？



選択項目	市町村数	割合
(ア) マイナスの影響を大きく受けた	6	15%
(イ) マイナスの影響が多少あった	13	32%
(ウ) プラスの影響を大きく受けた	1	2%
(エ) プラスの影響が多少あった	10	24%
(オ) 昨年度と変わらなかった	11	27%

※昨年（令和2年度）の回答

- (ア) マイナスの影響を大きく受けた（7か所 17%）
- (イ) マイナスの影響が多少あった（20か所 49%）

マイナスの影響を受けたとの回答が全体の6割

2. 令和3年度の募金実績について

一般募金：募金方法別にみる実績の増減とその要因

■減少の影響があった募金

<戸別>減少41%（17か所）

- 訪問回数の減少
- 区長会にて、募金の依頼ができていない。
また、コロナ禍で地域が個別依頼をしておらず、予算化での対応にかわってきている地域がある。

■増額（または昨年実績の維持）要因

<戸別>

- 前年度は新型コロナの影響で減少したため、令和3年度は増加となっているが、新型コロナの影響もありましたが、例年通りであった
- 世帯訪問をお願いしている協力団体を増やし、訪問件数を増やした。

2. 令和3年度の募金実績について

一般募金：募金方法別にみる実績の増減とその要因

■ 増加した、昨年と同様だった募金

<法人募金> 増加46% 19か所

- ▶ 新規事業所等の開拓 法人への依頼を増加した。使い道のチラシの工夫をした。
- ▶ 各企業に訪問し今まで以上に丁寧に説明を行なうことで、理解を得ていただくことができた。
- ▶ 企業への巡回訪問を実施できず主に振込での対応となったが、職員で手分けし、全ての企業に電話依頼をしたことで昨年度より実績が増となった。
- ▶ 依頼文書の郵送件数を増やしたり、コロナ禍ということも考慮して直接の訪問ではなく、電話でのアポイントメントから集金という流れで取り組んだ。

<学校> 増加39% 16か所

- ▶ コロナの影響で前年度、取組めなかった学校が協力いただいた。
- ▶ 各小学校で赤い羽根のミニ講話を行い、手作り募金箱づくりを実施し、町内に設置した。
- ▶ コロナ禍の影響でより積極的に活動するようになったと意見もあった。
- ▶ 実績は昨年度と変わらないが、贈呈式は、ZOOMや録画等で学校側が工夫し、全児童・生徒にお礼を伝える場面を設けることが出来た。

2. 令和3年度の募金実績について

一般募金：募金方法別にみる実績の増減とその要因

■増加した、昨年と同様だった募金

<街頭募金> 増加27% 11か所

- ▶ 令和2年度は街頭募金を控えたが、令和3年度は感染症対策を講じて実施したため
- ▶ 助成金を受けている団体への街頭募金の協力願いをお伝えしたことで、助成団体が街頭募金を行っていただけました。
- ▶ 今回、初めて村内の高等学校のボランティア部の生徒による街頭募金の協力があった。

<職域> 増加29% 12か所 (※減少29%)

- ▶ 寄附型募金の取組が職域募金への実績にもつながった。
- ▶ 普段関わりのある事業所は直接依頼文を手渡しするなど、お願いする際に訪問した。依頼文の送付件数を増やした。

3. 令和3年度を振り返って

募金運動（一般、歳末）で効果的だった取組み

- ① 公募助成説明会を開催することで活動の目的を理解してもらい、地域で募金を呼び掛ける仕組みづくりのきっかけをつくることができた。
- ② 共同募金についてのアンケートを実施することで、地域の方々が考える募金のあり方を確認し、これからの募金活動の課題を明確にすることができた。
- ③ 運営委員会・審査委員会を設置することで多様な人材の参画をすすめることができた。
- ④ 八重瀬町社協（共同募金会）の特徴として、前年度の戸別募金（一般募金）の3割を地域に助成金として返す取組みが根付いている。地域で頑張って取り組んだ分は地域へ還元されるので、取り組む意欲等につながっている。また、助成金を活用した地域行事や物品購入等について、赤い羽根共同募金が活用されていることを広く周知している。
- ⑤ 街頭募金（一般募金）の実施ができない店舗に対して募金箱設置してもらった。
- ⑥ 法人募金→訪問する件数を増やした分協力員を増やし、企業へ事前に電話し赤い羽根の説明と協力員が訪問する趣旨を伝えることで、協力員の負担を減らしスムーズに訪問することができた。

3. 令和3年度を振り返って

募金運動（一般、歳末）で効果的だった取組み

- ⑦ ネット募金→コロナ禍であまり接触せずに気軽に募金をしてもらえるよう、QRコードを作成してチラシに載せるなどした。
- ⑧ 募金箱→募金箱の設置依頼を増やし、多くのお店へ協力してもらえた。その際の募金箱を社協内事業所にて作成し、市民の生活圏内、目の付く所へ設置することができ、赤い羽根のアピールもできた。
- ⑨ 地域歳末募金額を増やすため、新規で事業所募金依頼先及び職域募金先を増やした。
- ⑩ 沖銀スマートアプリ募金を活用し、身近に募金活動に取り組みが行えた。
- ⑪ 一昨年度からコロナの影響を受け街頭募金額が減ることが見込まれたため、企業や個人や個人事業主への協力依頼を強化するため、事務局長自ら出向いて協力依頼を行ったことで、協力して頂ける企業や個人事業主の方が増えた。
- ⑫ 広報誌の紙面を市民へわかりやすく表記するよう心掛けた。

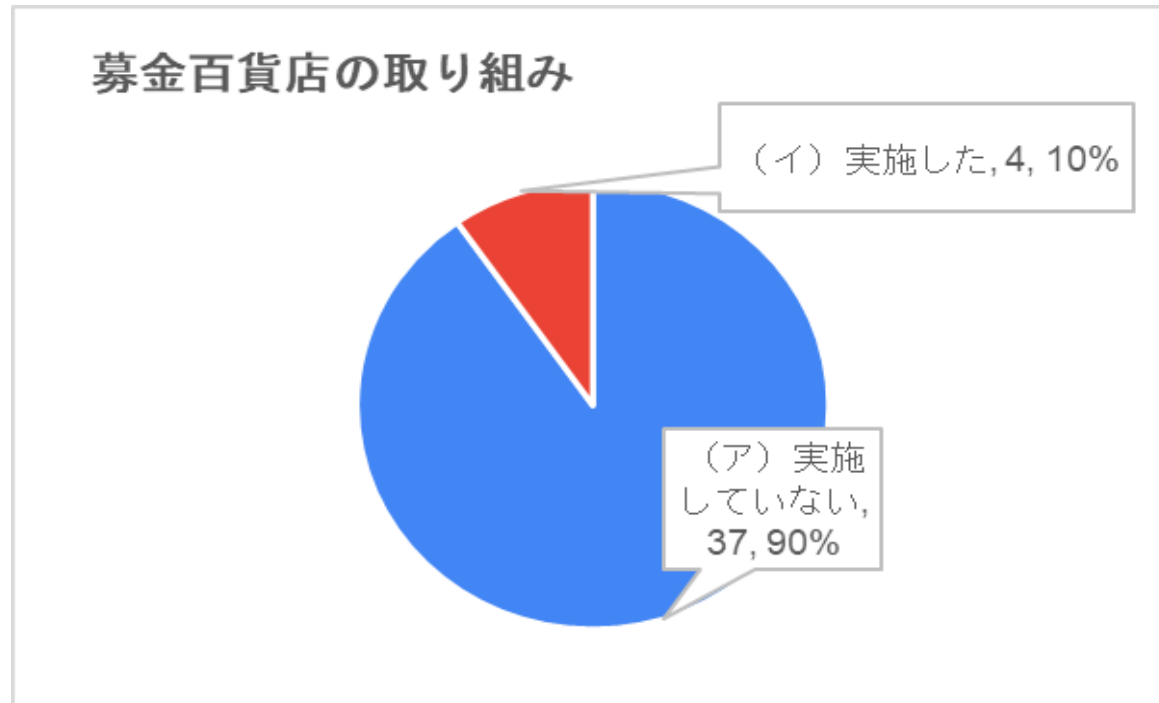
3. 令和3年度を振り返って

令和3年度の課題から、今年度の取組へつなげたいこと

- ① 多人数でのイベントは避け、少人数で行えるような事業を検討している。
- ② 地域事業担当職員へ共同募金について共通理解が出来ていないので、今年度は職員への説明会（共同募金への理解を深めてもらう為）を実施予定。社協職員同士で知識とり理解を深め地域住民への説明、ニーズに合わせた配分事業の開発等につなげられたらと思う。
- ③ これまで配分団体が固定化していたが、公募をし単位自治会や新たな団体へも配分することができた。
- ④ 自治会用の広報資材として「のぼり」「車両マグネット」を作成予定
- ⑤ 例年は一人の担当職員が募金担当を担っていたが、令和3年度に引き続き募金種別ごとに主となる職員を配置することによって負担を減らし、それぞれで工夫して取り組むことができるようにする。
- ⑥ 新規依頼先を増やし、募金百貨店プロジェクト、ネット募金等気軽にできる募金の在り方を検討したい。
- ⑦ テーマ型募金の初実施。

4. 募金百貨店プロジェクトの実施状況

募金百貨店プロジェクトの取組を実施しましたか？



選択項目	市町村数	割合
(ア) 実施していない	37	90%
(イ) 実施した	4	10%

4. 募金百貨店プロジェクトの実施状況

浦添市

①マンガ倉庫浦添店

不用品の寄贈。寄贈していただいた不用品をマンガ倉庫が買い取り、買い取った金額を寄付

②ブルーランジェリー・ア・テット（パン屋）

パンのセット1つにつき約200円

③ジミー浦添店

ケーキ、クッキー 1つにつき500円

④ブエノチキン浦添

チキン 1つにつき500円か1,000円

⑤アウトドアショップネオス

キャンプ体験 参加料から寄付

昨年度（2021年度）中央共同募金会作成の企業・法人向けパンフレットで紹介されました！

企業・法人の取り組み紹介

企業・法人と、赤い羽根共同募金との協働による取り組みをご紹介します。

WIN WIN WINを実現させ、好循環を生み出すしくみ
マンガ倉庫浦添店／沖縄県 浦添市共同募金委員会

リサイクルショップのマンガ倉庫浦添店では、地域の企業・住民と一緒に取り組める募金活動を模索していた浦添市共同募金委員会からの提案を受け、地域の方々から提供された物品を、同店で査定・買取し、その買取金額を赤い羽根共同募金に寄付するという企画を実施しました。

この企画では、地域の方々にはコロナ禍の中でも物品提供により募金運動に協力ができ、その寄付は地域のために役立てられ、マンガ倉庫浦添店は売上につながる、地域住民、企業、浦添市共同募金委員会が、WIN WIN WINとなり好循環を生み出すことができました。

今回の取り組みをきっかけに、マンガ倉庫浦添店では年間を通じて店舗に地域のために使われる募金箱の設置や、困窮している方への物品提供など、地域のために社会貢献活動を続けていきます。

企業ご担当の声
マンガ倉庫 浦添店 店長 武内 秀敬氏

寄付プロジェクトをとおして店舗としても社会貢献ができました。今後も地域で困っているの方々のために浦添市共同募金委員会（社会福祉協議会）と協力して、住みよいまちづくりに貢献していきたいと思っております。

4. 募金百貨店プロジェクトの実施状況

石垣市

①合同会社石垣島

【商品名】

- ・石垣市民食堂の八重山そば
- ・ショップ672取扱商品
(那覇ベーカリーの商品、下地黒糖加工所商品全般、金城かまぼこ店商品全般、
ハム・ソーセージの商品、金城製麺所の商品)

【寄付額】

- ・該当商品の登録期間中の売り上げに対し2%

②株式会社石垣の塩

【商品名】

- ・石垣の塩200g
- ・石垣の塩SALT歯みがき
- ・ソルトスパ美塩(地元客売上)

【寄付額】

- ・該当商品の登録期間中の売り上げに対し2%
対象店舗：石垣の塩売店・ソルトスパ美塩



4. 募金百貨店プロジェクトの実施状況

那覇市

①メディカルハーブカフェ

赤い羽根ランチ

商品につき20円寄附



5. ネット募金 新たな募金手法の活用

既存の手法に加え、より多くの方に共同募金に参加してもらう手法として、ネット募金の活用も検討ください。

- 中央共同募金会によるネット募金受付システム
- 中央共募→都道府県共募へ送金→市町村共募へ送金（市町村の指定がある場合）
- 募金件数、金額ともに年々増加傾向
- 市区町村が指定でき、全体の6割が市区町村が指定された募金
- 市区町村の個別URLを作成できる。また、個別にURLをQRコードにし、広報等に活用することも可能。

共同募金は地域住民への丁寧な説明をしていくことで、地域の課題を知ってもらうことが大切です。「丁寧さ」をオンラインに変えることは容易ではありませんが、「いつでも、どこでも」のニーズもあるのも事実です。

【寄付者のコメント】

- ・街頭募金できなかったのこちらで失礼します。
- ・窓口まで行くことができないので、こちらで失礼します。



5. ネット募金 市区町村URLおよびQRコードの作成について

市町村別のURLの作成のしかた

①沖縄県共同募金会の基本URL

<https://hanett.akaihane.or.jp/donate/entry/100/47/>

②沖縄県共同募金会の基本URL①の後ろに自治体コードの**上から5桁**を加え、末尾に「/」スラッシュを加える。

※自治体コードは総務省HPより確認（別紙参照）

（例：那覇市）自治体コード **472018**
<https://hanett.akaihane.or.jp/donate/entry/100/47/47201/>

←左記例（那覇市）のようにURLまたは作成したQRコードからはねっとデータベースの下記画面に遷移します。

（QRコード作成方法は別途参照）

5. ネット募金 市区町村URLおよびQRコードの作成について

▼沖縄県・那覇市へのネット募金申込ページURL

<https://hanett.akaihane.or.jp/donate/entry/100/47/47201/>

画面イメージ

寄付金額の選択	
寄付プログラム	赤い羽根共同募金
ご寄付金額	選択してください▼ <input type="radio"/> 毎月 <input type="radio"/> 今回のみ
ご寄付先の地域	都道府県 沖縄県 ▼ 地域 那覇市 ▼
ご寄付の使いみち	共同募金会におまかせ ▼
メッセージ・ご質問など <small>任意</small>	<input type="text"/> <small>[残り:200文字]</small>

那覇市と表示される

【ネット募金での留意事項】

- ・クレジット決済方法による募金の場合は、寄付者が募金申込をしてから実際に入金されるまでにはタイムラグがあります。
(クレジット会社からの決済日が受領日となります)

5. ネット募金 市区町村URLおよびQRコードの作成について

ネット募金 市区町村URLおよびQRコードの作成について

自治体コード

沖縄県共同募金会の基本URLの後ろに自治体コードの**上から5桁**を加え、末尾に「/」スラッシュを加える。

団体コード	市区町村名 (漢字)	団体コード	市区町村名 (漢字)
470007		473251	嘉手納町
472018	那覇市	473260	北谷町
472051	宜野湾市	473278	北中城村
472077	石垣市	473286	中城村
472085	浦添市	473294	西原町
472093	名護市	473481	与那原町
472107	糸満市	473502	南風原町
472115	沖縄市	473537	渡嘉敷村
472123	豊見城市	473545	座間味村
472131	うるま市	473553	粟国村
472140	宮古島市	473561	渡名喜村
472158	南城市	473570	南大東村
473014	国頭村	473588	北大東村
473022	大宜味村	473596	伊平屋村
473031	東村	473600	伊是名村
473065	今帰仁村	473618	久米島町
473081	本部町	473626	八重瀬町
473111	恩納村	473758	多良間村
473138	宜野座村	473812	竹富町
473146	金武町	473821	与那国町
473154	伊江村		
473243	読谷村		

5. ネット募金 市区町村URLおよびQRコードの作成について

ネット募金 市区町村URLおよびQRコードの作成について

- (2) 市区町村別の QR コード作成のしかた
- ①インターネットで「QR コード 作成」と検索し、QR コード生成サイトを開く。
 - ②QR コード生成サイトの所定の位置に、作成したい URL を入れる。
 - ③生成された QR コードを任意の様式(Jpeg 等)でダウンロードする。

例：(株)アルル運営「クルクルManager」(<https://m.qrqr.com/>)
を使用した場合



※QR コードは(株)デンソーウェーブの登録商標です
 ※QR コードの活用等について詳細は下記サイトを参照ください。
 「コードドットコム」<https://www.qrcode.com/about/>

令和4年度版 沖縄県共同募金チラシへのQRコード掲載



【QRコードの作成】
 募金依頼のチラシに
 個別のURLをQRコード
 化すると、寄付者の
 アクセスが早い。

6. 募金活動実施にあたっての衛生配慮に係るガイドラインより



- 全国あまねく実施される共同募金運動において、基本的な考え方を統一させた募金活動が実施されることは、運動に対する地域住民の皆さんの、安心と信頼を担保することにつながります。

基本的なルール

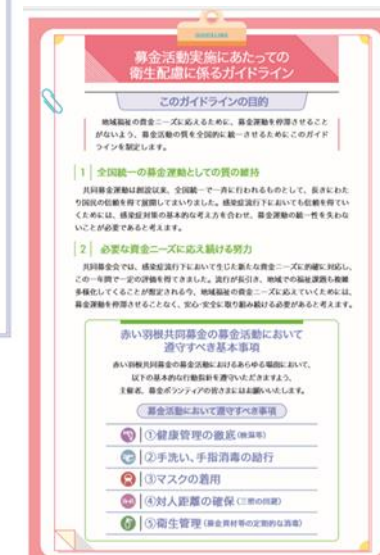
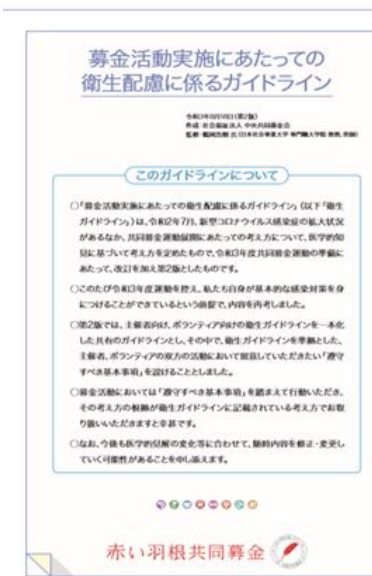
1. 健康管理の徹底

2. 手洗い・手指消毒の徹底

3. マスクの着用

4. 対人距離の確保

5. 衛生管理



7. 令和4年度共同募金運動における共通助成テーマ



つながりをたやさない社会づくり～あなたは一人じゃない～

【テーマの趣旨】

- ▶ 新型コロナウイルスにより人と人が距離を取り、接触する機会を減らすことが求められたことで困窮や孤立の増加、固定化が地域の大きな課題となっています。
- ▶ 人と人との接触が取りづらくても、つながることをあきらめず共同募金はこれまでと変わらず支援を続けてきました。
- ▶ パンデミック下においても絶やさず支援を行ってきた共同募金として課題に取り組む活動を引き続き支援し続けるとともに、そうした課題や課題に立ち向かう活動の存在を広く社会に伝えていくことが必要とされます。



ひとりひとりの小さなお金。そのお金に「誰かの助けになりたい」という気持ちがあっても
十人、百人、千人と集まれば、大きな力になります。赤い羽根は、小さなことをしています。
小さな活動をたくさん、何十年と続けています。つまり、赤い羽根は、大きなことをしています。

意志あるお金、募金の子カラ。

赤い羽根共同募金





令和4年度の共同募金運動も
皆様のご協力よろしく申し上げます